

## 【巻末資料】

### ＜学校段階間の接続に関する項目＞

#### 「小学校学習指導要領第1章総則」(平成29年告示)に新設された 第2の4「学校段階間の接続」(1)

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

#### 「小学校学習指導要領解説総則編」(平成29年)第3章第2節4学校段階間の接続 (1)幼児期の教育との接続及び低学年における教育全体の充実より

小学校低学年は、幼児期の教育を通じて身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、児童の資質・能力を伸ばしていく時期である。幼稚園教育要領等においては、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から構成される資質・能力を一体的に育むように努めることや、幼児期の教育を通して資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿を幼児期の終わりまでに育ってほしい姿として示している。

この幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに幼稚園の教師等と子供の成長を共有することを通して、幼児期から児童期への発達の流れを理解することが大切である。

小学校においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かい、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を更に伸ばしていくことができるようにすることが重要である。

その際、低学年における学びの特質を踏まえて、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育むことを目的としている生活科と各教科等の関連を図るなど、低学年における教育課程全体を見渡して、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるように工夫する必要がある。特に、小学校の入学当初においては、幼児期の遊びを通じた総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められる。

## <幼稚園関連項目>

「幼稚園教育要領第1章総則」(平成29年告示)の「第3 教育課程の役割と編成等」の「5 小学校教育との接続に当たっての留意事項」(2)

幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

また、「小学校学習指導要領第1章総則」(平成29年告示)の「第5 学校運営上の留意事項」において、「2 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携」の項で、以下のように示されている。

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

イ 他の小学校や、幼稚園、認定こども園、保育所、中学校、高等学校、特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

## <小学校「指導計画」作成に関する項目>

「小学校学習指導要領」第2章 国語、算数、音楽、図画工作、体育、第6章 特別活動  
第3 指導計画の作成と内容の取扱い

低学年においては、第1章総則の第2の4の(1)を踏まえ、他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導(特別活動においては、「関連的な指導」)や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

「小学校学習指導要領」第2章 生活 第3 指導計画の作成と内容の取扱い1の(4)

他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高め、低学年における教育全体の充実を図り、中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにするとともに、幼稚園教育要領等に示す幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連を考慮すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期における遊びを通じた総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすること。その際、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をすること。

## ＜スタートカリキュラム作成に関する項目＞

「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き」  
 (文部科学省・国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成 30 年 3 月)より

図1 基本的な考え方

<b>基本的な考え方</b>	
<b>■ 一人一人の児童の成長の姿からデザインしよう</b>	入学時の児童の発達や学びには個人差があり、それぞれの経験や幼児期の教育を考慮したきめ細かい指導が求められる。そのため、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえるなどして、幼児の発達や学びの様子を理解した上で、カリキュラムをデザインすることが重要である。
<b>■ 児童の発達の特性を踏まえて、時間割や学習活動を工夫しよう</b>	入学当初の児童の発達の特性やこの時期の学びの特徴を踏まえて、10分から15分程度の短い時間を活用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置付けたりするような工夫が必要である。また、児童の意欲の高まりを大切に、自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように活動時間を設定することなども考えられる。
<b>■ 生活科を中心に総合的・関連的な指導の充実を図ろう</b>	自分との関わりを通して総合的に学ぶという、この時期の児童の発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした総合的・関連的な指導の充実を図ることが重要である。このような指導により、児童の意識の流れに配慮したつながりのある学習活動を進めていくことが可能となる。
<b>■ 安心して自ら学びを広げていけるような学習環境を整えよう</b>	児童が安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整えることが重要である。児童の実態を踏まえること、人間関係が豊かに広がること、学習のきっかけが生まれることなどの視点で、児童を取り巻く学習環境を見直す必要がある。

図2 スタートカリキュラムをデザインする手順

遊びを通しての総合的な学び(幼児期)

より自覚的な学び(児童期)

(1) 幼児の発達や学びを理解する

- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえる
- ・ 幼児の発達や学びの姿を把握する

(2) 期待する児童の姿を共有する

- ・ スタートカリキュラムで期待する児童の姿を明らかにする
- ・ 実施期間を検討する

(3) 各学校のスタートカリキュラムをデザインする

① 単元の構成と配列

期待する児童の姿に適合した単元を構成し配列する

スタートカリキュラムとして大切なこと

幼児期の教育とのつながりや児童の発達の特徴を踏まえ、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を行う

全ての単元を配列し、俯瞰することができる単元配列表を作成する

② 週の計画と時間配分

単元計画に基づいた学習活動を週の計画として時間配分する

スタートカリキュラムとして大切なこと

児童の発達の特徴や学びの特徴を踏まえ、短い時間で時間割を構成したり、ゆったりとした活動時間を位置付けたりするなど、弾力的な時間割の設定の工夫を行う

実践に向けて具体化するために週案を作成する

図3 幼児の発達や学びの理解

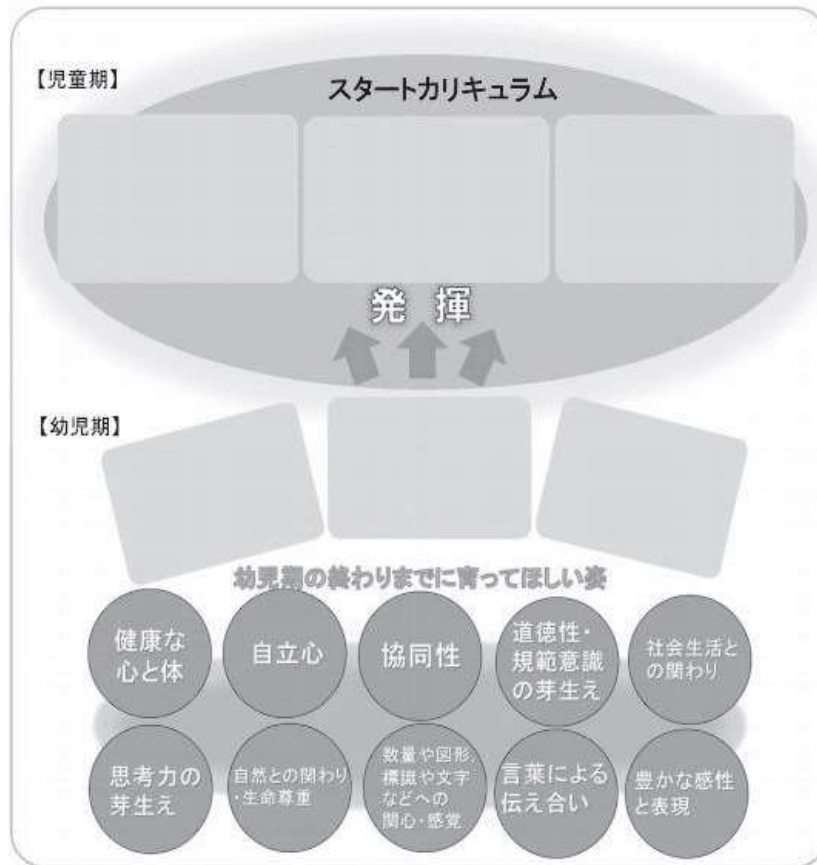


図4 期待する児童の姿の共有

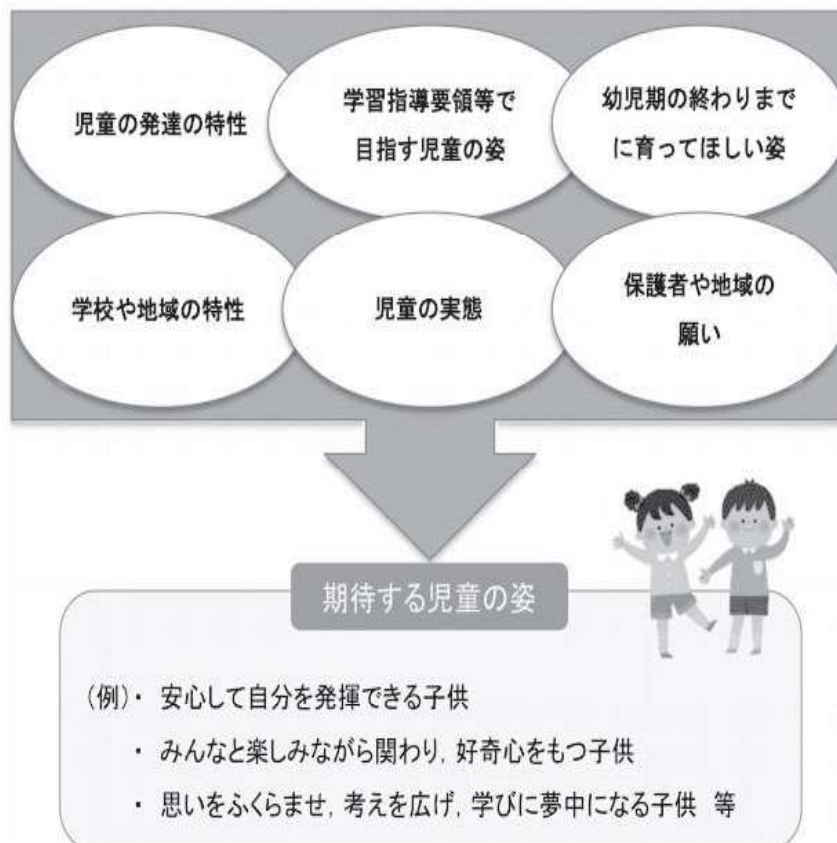
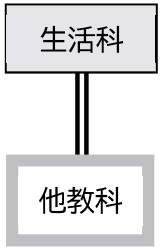
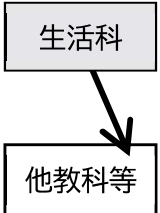
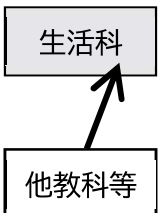


図5 合科的・関連的な指導

	捉え方	タイプ (例)
合科的な指導	各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの	<p>【合科】 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める</p> 
関連的な指導	教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの	<p>【関連A】 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす</p> 
		<p>【関連B】 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす</p> 

スタートカリキュラムにおける合科的・関連的な指導の具体例としては次のようなことが考えられる。

【合科】	生活科の学校探検で気付いたことなどを言葉で表現したり、友達と伝え合ったりする学習活動において、国語科の資質・能力「伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること」について指導することで、より効果的にねらいの実現を図る
【関連A】	生活科で春の自然を観察したり、自然のもので遊んだりする体験が、音楽科で春の歌の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くことに生かされるように関連を意識して指導する
【関連B】	算数科で育成する、ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることや、個数の順番を正しく数えたり表したりする知識及び技能が、生活科の学校探検で見付けたものを数える際に生かされるように関連を意識して指導する

# 幼小連携における円滑な接続を目指して

※「幼児教育共通カリキュラム開発委員会報告」平成31年3月発行より

「幼小中」や「幼小」の連携など、異校種間の連携の重要性が謳われて久しく、異校種間の子供同士、教師同士、保護者や地域も交えての交流行事が多く行われています。

しかし、一方で互いの教育課程や指導計画・内容などの接続については、十分ではない現状があることも指摘されています。

本区においては、「教育課程の接続」を意識した、本開発委員会での教材・指導案開発に取り組んでいます。

## 1 幼小合同で開発した「指導案（例）」

(1) 様々な環境の保育者、教員が協働して開発した指導案

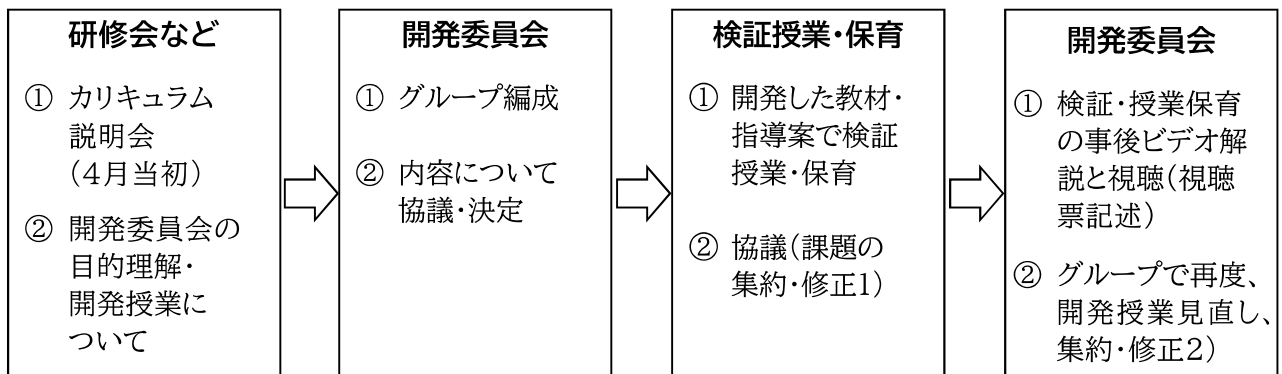
ア 幼児部

公立・私立の幼稚園・保育所・認定こども園から選出された委員の混合グループを3グループ程度編成

イ 小学校部

3人の委員で1グループ編成

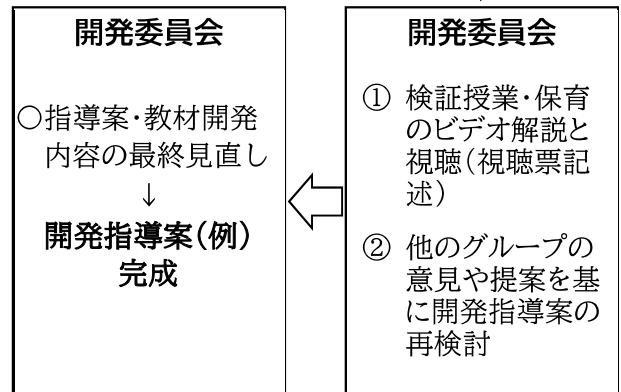
(2) 研修や指導案・教材開発の流れ（今年度の例）



(3) 視聴票の活用で指導案の改善

検証保育・授業後の協議会で話し合うだけでなく、次回の委員会では、撮影したビデオを視聴して、感想や提案などを視聴票に具体的に記述してまとめ、よい点や課題を明らかにした。

幼小の各委員の改善案を取り入れた指導案が完成すると、互いの指導への理解が深まると同時に、委員同士の一体感と達成感が高まり、さらなる開発への意欲につながった。



## 2 幼小合同で開発した指導案(例)の実際

### 《授業の概要》

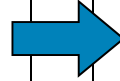
#### (1) 小学校部実践における改善例「忍者修行をしよう」(体育)

- 体育科「B 器械・器具を使つての運動遊び」
  - ・ 幼児教育で、「忍者ごっこ」や忍者のリズム表現遊び、忍者の絵本を見る幼児は多い。園の環境により、巧技台やマットでの運動遊びを経験した子は上記より減少する。
  - ・ 小学校では、事前に
    - ① 忍者の本の読み聞かせをしておく(国語科)。
    - ② 「たいいくかん たんけん」(生活科)に行き、体育館の倉庫にある器械・器具などに興味・関心をもたせておく(「あれで、遊びたいなあ。」という意欲を喚起)。

#### 《幼児部の意見・提案》(改善点のみ、小学校部意見は略)

- 「忍者修行」→文字+絵だとイメージをもちやすい。
- 言葉だけでなく、**絵表示や実際に見せる。**
- 何をすることも、最初保育者が仕方を見せる。
- 片付け⇒やっている子・いない子  
→先生が**全て指示**しているから。  
→例：T「あと何が残っているかな？」  
「何を片付ければいい？」
- ◎ **危険の意識**⇒器械・器具の前で待つ位置が近すぎる。危ないことを具体的に説明し、待つ位置を示すことが大事。

幼小で開発した指導案



#### 《幼児部の提案で指導案を修正した点》

- 忍者修行看板⇒文字+絵(視覚に訴えることで)イメージを膨らませる。
- 修行の仕方の説明⇒**指導者が実際にやって見せる**(片付け方も同じ)。
- ◎ **安全面**⇒
  - ・ 指示してやらせるだけでなく、児童自身が**気付ける言葉掛け**。
  - ・ 器械・器具の前で待つ位置や座らせ方  
→最初は**徹底するまで毎回確認の言葉掛け**をする。

#### (2) 幼児部実践における改善例「フラッグボール」

当初の「フラッグボール」は、フラッグフットボール、タグラグビーの2つの要素が含まれており、タグを両脇に2本付け、タグとボールを取り合うゲームを構想していた。

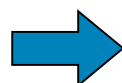
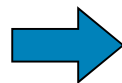
ボールを多くゴールラインに入れた方のチームが勝ちというルールなので、幼児はタグの有無にかかわらず、ボールを取り合う。

幼小の協議の結果、ルールの見直しが提案されたり、幼小双方で大切にしたい姿が共通になったりして、有意義な実践につながった。

#### 《小学校部からの感想・提案》

- 1年生の『タグ鬼』では、タグを取り合うだけの簡単なゲームにしている。
- タグとボールのように、**取り合う物が2つあるのは難しい**。発達段階を考慮する。
- タグを付けて『宝取り鬼』をするようなルールであり、煩雑である。**幼児にはもう少し単純なルールの方がよい。**

- **ゲームの前後に互いにしっかり挨拶することは大切**であり、小学校でも行っている。幼児期から身に付いていることが分かった。



#### 《修正・確認した点》

- 身に付けるタグは**1本**にする。
- **タグを取られたら、ボールは持たない**ルールにする。

- 幼児・児童双方にとって、**人との関わりで挨拶は大切**。共通に育てていく**基本的な規範**として押さえていく。

#### 開発委員会で検討

小学校委員の提案を基に、幼児(5歳児)担任が改善案を検討、作成、提示(研修支援専門員が助言)。

#### 開発指導案(例)の完成





スタートカリキュラムにつながる教材—幼児期の体験を生かして—

□ 5歳児クラスで保育に取り入れているものを調査しました。

令和5年度、区内公立幼稚園・保育園・こども園(公立)の5歳児クラスにおいて取り入れている教材を調査し、70%以上の施設が保育に取り入れているものを下記の表にまとめました。「ちいさな芽」基礎編P.36以降に掲載されている教材とともに活用してください。

小学校のスタートカリキュラムにおいて、特に「なかよしタイム」等で活用してください。また、「ちいさな芽」基礎編P.36以降に掲載されている教材とともに活用してください。

絵本・紙芝居	歌・リズム遊び	運動遊び	手遊び
エルマーシリーズ	昆虫太極拳	色鬼	アルプス一万尺
100かいだてのいえシリーズ	せかいじゅうのこどもたち	大繩(ゆうびんやさん・くぐりぬけ)	かみなりどんがやってきた
ともだちやシリーズ	ドレミの歌	氷鬼	おてらのおしょうさんが
へんしんトンネルシリーズ	にんげんていいな	だるまさんがころんだ	じゃんけんポイポイ
どんぐりむらシリーズ	ハッピーチルドレン	引っ越しゲーム	八百屋のお店
わんぱくだんシリーズ	ぼくのミックスジュース	バナナ鬼	いわしのひらき
いやいやえん	ドキドキドン!1年生	ドッジボール(ころがし)	やきいもグーチーパー
きょうはなんのひ?	こころのねっこ	ドロケイ	1本指の拍手
めっきらもっきらどおんどん	ラーメン体操	ゴムとび	おちゃらか
ロボットカマイ	そうだったらいいのにな	サッカーごっこ	ずいずいずっころばし
おおきくなるっていうことは	ともだちになるために	宝取り	ちゃつぼ
ミッケ!	にじのむこうに	ライン鬼	5つのメロンパン
こどものとも 月刊絵本	線路は続くよどこまでも	リレー	大きくなったら何になる
※昔話	パレード	コーディネーショントレ	テレパシー
※童話	ぼよよん行進曲	ーニング	ホルディア・クック

□ 家庭環境や生活様式の変化により、大人が実際に語ったり、読み聞かせたりする機会が減ってきています。幼児教育施設では、幼児が古今東西の名作に触れていく場をつくっていくことが大切です。下記の作品等を参考にしてください。

※昔話

(日本五大昔話)

- ①ももたろう
- ②花咲じい
- ③かちかち山
- ④したきり雀
- ⑤さるかに合戦

※グリム童話

- ・赤ずきん
- ・いばらひめ(ねむりひめ)
- ・狼と7匹のこやぎ
- ・かえるの王子様
- ・金のがちょう
- ・白雪姫
- ・灰かぶり(シンデレラ)
- ・ブレーメンの音楽隊
- ・ヘンゼルとグレーテル

※アンデルセン童話

- ・おやゆびひめ
- ・みにくいアヒルのこ
- ・雪の女王
- ・裸の王さま
- ・マッチ売りの少女
- ・人魚姫

※イソップ童話

- ・北風と太陽
- ・うさぎとかめ
- ・犬と肉
- ・アリとキリギリス
- ・ねずみの恩返し
- ・田舎のネズミと町のネズミ

## 絵本の読み聞かせについて

### ○こんなことに気を付けましょう

- ・子供たちが横に広がりすぎると、前方の両サイドからは見えにくくなります。集まる場所や配置、先生の立ち位置に配慮しましょう。
- ・ページをめくってすぐには読み始めないようにしましょう。  
子供たちはまず、目に入る絵を読み楽しんでいきます。その間を大切にしましょう。
- ・大きさに声音を使うなど、お話より読み手が目立つような読み方はしないようにしましょう。
- ・読む速度、ページをめくる速度は、お話の場面によって変わってきます。絵本は前もって読んでおき、内容をよく理解してから読み聞かせしましょう。

### ○こんなことはしていませんか？

#### ★お話の途中で質問をする

- ・途中で質問を入れると、お話の流れが止まり、子供たちをお話の世界から現実に戻してしまいます。また、子供たちの気持ちが物語の展開より次に来る質問の方に移り、物語の世界を楽しむことができなくなります。
- ・子供たちから質問が出た時は、お話の理解を助けるものには簡潔に答え、お話の流れが途切れることのないようにしましょう。

#### ★お話を理解しているか確認したり、「面白かった？」など感想を聞いたりする

- ・物語の世界に入り込み、お話を楽しんだ子供たちは、読んでもらった後も物語の余韻を楽しんでいます。子供たち一人一人の感じ方は異なるものです。
- ・読んだ後は、あらすじや感想などを聞かず、余韻を含め、お話の世界を十分楽しませることを大切にしましょう。

### ○ 絵本の持ち方・読み聞かせの環境



片手で絵本の下部の綴じを持ち、体は聞き手の側に向く。絵本がぐらつかないように、安定した持ち方をします。

背景は掲示物など刺激がない方がお話に集中できます。

子供たちの視線が正面より少し上に送れるくらいの高さで読み聞かせをします。首の角度が極端に上下することのないように距離を保ちましょう。



## 【カリキュラム事例作成 協力者】

※事例作成年度の所属・氏名を記載

### 【幼児教育】

3歳児事例	台東保育園	円城寺 由衣
	金竜幼稚園	山岡 希
4歳児事例	根岸幼稚園	鹿野谷 麻由
	石浜橋場こども園	櫻井 由紀恵
5歳児事例	ことぶきこども園	石川 歩美
	石浜橋場こども園	稲垣 美里
	レイモンド鳥越保育園	植野 圭香
	育英幼稚園	渡邊 菜摘
	浅草寺幼稚園	海上 優衣
	千束保育園	立林 千早

### 【小学校教育】

根岸小学校	小板橋 彩	浅草小学校	柳 祐三恵
	山本 由紀子		土田 亜紀子
忍岡小学校	石塚 理栄子	東浅草小学校	丸山 杏里
	高橋 祐子	富士小学校	澤井 亮子
	蜂谷 大輔		金井 英治
金曾木小学校	南出 淑恵	松葉小学校	石間 恭子
大正小学校	川口 愛恵	千束小学校	小山 未祐
	岡島 由紀子	田原小学校	古屋 千佐

### ○実践事例作成 協力学校園

台東保育園	田原小学校
坂本保育園	金竜小学校

### ○事務局（教育支援館）

教育支援館長	倉島 敬和（令和2年度）
	工藤 哲士（令和3年度～5年度）
統括指導主事	村上 桂一郎（令和2年度～4年度）
	島山 繁善（令和5年度）
研修支援専門員	千明 素子
	佐藤 妙子
	白井 正之
	林 恵子
	古谷 尚律
	川田 善男



台東区幼児教育共通カリキュラム  
ちいさな芽  
(接続期カリキュラム事例集～増補版～)

令和5年度登録 第46号

令和6年3月発行

台東区教育委員会

台東区立教育支援館

台東区西浅草3丁目25番16号

電話 03(5246)5921

## 台東区民憲章

### あしたへ

江戸の昔、「花の雲 鐘は上野か 浅草か」と詠まれたわたくしたちのまち台東区には、磨き抜かれた匠の技や気さくで人情あふれる暮らしが、今もあちらこちらに息づいています。わたくしたちは、先人が築いてきた文化や環境を大切に、伸びゆく住みよいまちを  
目指し、この憲章を定めます。

たからものをうけつぎ ころゆたかな まちにします  
おもてなしの えがおで にぎやかな まちにします  
おもいやり ささえあい あたたかな まちにします  
みどりをいつくしみ さわやかな まちにします  
いきがいはぐくんで すこやかな まちにします